

8月9日は生徒と平和を語ろう

以前は少なかった8月9日の平和登校日

現在では、ほとんどの学校で、8月9日を登校日にして、平和学習をするようになっていますが、1990年代は、8月9日に平和学習をおこなう高校・特別支援学校は少数派でした。1995年に高教組が平和学習について調査した結果は次のとおりでした。

8月9日に実施	…22校
8月9日以外の夏休みに実施	…19校
夏休み以外に実施	…13校
特に何もしていない	…37校

これは、「8月9日にこだわる必要はない」とする県教委や管理職の考え方を背景にして、進学合宿や補習授業などが優先されていた結果でした。これに対して高教組は、1970年代から、「平和を守り、原爆を語る登校日」として、8月9日を中心に登校日を設定し、平和学習にとりくむことをよびかけて、各校で組合員が中心になって実践を続けていました。

こうしたとりくみの積み重ねと、被爆体験の継承など平和教育の充実を求める世論の高まりを受けて、県教委は方針を転換し、2000年度から、8月9日に平和学習をおこなうことを指導するようになりました。08年度に決定された県教委の「教育振興基本計画」にも、8月9日に平和学習をする学校100%という数値目標を掲げています。

様々な平和学習の実践があります

8月9日の平和学習で多いのは、DVDなどの視聴や、被爆体験や戦争体験を聞くことですが、その他にも、様々な実践がおこなわれてきています。その例をいくつか紹介します。

- 生徒会や生徒の「平和委員会」などによる全校集会（詩の朗読、合唱、平和宣言の採択、生徒全員の一言メッセージ作成等）
- 演劇部の平和についての創作劇の上演、放送部制作のビデオやラジオ番組の視聴。
- 高校生が抱いた疑問を歌と朗読で語る。（「戦争を知らない子どもたち」「イムジン河」「長崎弁による憲法9条」など）
- 生徒の平和学習係などが作った7万4千人分の顔写真のコラージュの展示、独自制作のラジオ番組の視聴の後、生徒が想いを表現した俳句・詩・イラストを文集化。

教育研究集会で交流し学び合おう

高教組では、こうした平和学習の実践について、毎年夏の教育研究集会で交流しています。そこでは、8月9日のとりくみはもちろん、教科やHRなどでの年間を通した実践も報告されます。今年は8月10・11日に開催します。また、長崎市内の被爆遺構の案内なども掲載した高教組独自の平和学習ハンドブックも作成しています。興味のある方は分会長さんへ申し出てください。

知りたいことや解説してほしいことがあれば、分会長さんへ伝えてください。